

施策 254

移住の促進

【主担当部局：地域連携部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

移住を考える人が一人でも多く三重県に移住し、自分に合った新しい暮らしを実現するとともに、地域の人びとと交流を深めていくことで、地域に活力が生まれています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県および市町の施策を利用した県外からの移住者数(累計)		1,800人		2,210人		3,070人
	1,405人					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県および市町の施策を利用した県外からの移住者数（平成27年度以降の累計）					
3年度目標値の考え方	令和5年度の目標3,070人（累計）を達成するため、毎年度、前年度の実績を上回るよう、段階的に移住者数の増加に取り組むこととし、目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
移住相談件数		1,480件		1,520件		1,600件
	1,455件					
移住支援事業による移住就業者数		51人		51人		60人
	—					

現状と課題

- ①平成27年4月から東京有楽町に設置している「ええとこやんか三重 移住相談センター」や、大阪および名古屋での移住相談デスク等において、市町と連携し、きめ細かな移住相談や三重の暮らしの魅力発信に取り組んでおり、県および市町の施策を利用した県外からの移住者数は、平成27年度から令和元年度までの5年間で1,400人を超えました。
- ②首都圏の移住希望者と県内の地域の人たちが継続的につながり、交流する仕組みである「三重暮らし魅力発信サポーターズスクエア」（以下「サポーターズスクエア」という。）の取組を進めるとともに、キーパーソンともなる「三重暮らし応援コンシェルジュ」を委嘱しました。サポーターズスクエアでは、参加者同士のつながりを深める交流サイトでの情報交換や、三重の暮らしの魅力を伝えるWeb記事の協働作業などに取り組んでいます。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、フィールドワークを伴う一部の取組はやむを得ず中止しましたが、本県への移住をより一層促進するため、サポーターズスクエアの取組を着実に進めていく必要があります。
- ③令和2年6月の内閣府調査「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」によれば、テレワーク経験者の約4分の1が感染症の影響により地方移住への関心が高くなったと回答しています。このため、テレワークやワーケーション等「場所」ととらわれない働き方に関心のある層に対してアプローチを行い、本県への移住につなげる取組が必要です。
- ④市町においては、全ての市町に移住相談窓口が設置され、空き家バンク制度が25市町で運用されるなど、移住者の受入体制の整備が進んでいます。「『みえ』の仕事マッチングサイト」を通じて東京圏から移住・就職した人を、市町と連携して支援する移住支援事業については、国により創設された事業であり、支給要件が厳しく、東京圏における制度の周知が十分になされていないことから、全国的に利用が進んでいない状況です。移住支援事業の利用に向けさらなる周知等を図るとともに、要件緩和を国へ働きかける必要があります。また、移住希望者が安心して三重に移住し、自分に合った暮らしを続けていけるよう、受入体制を充実させる取組を支援する必要があります。

令和3年度の取組方向

地域連携部

- ①「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心に、オンライン相談などITツールも積極的に活用し、きめ細かな相談対応を行っていきます。また、サポーターズスクエアの取組の中でも、交流サイトなどを活用しつつ、自分にあった暮らしを実現するためのきっかけとなるフィールドワークの実施や、「三重暮らし応援コンシェルジュ」等の移住者や地域の人たちとの継続的な交流を進めていきます。
- ②テレワークやワーケーション等「場所」ととらわれない働き方に関心のある企業や勤務者、個人を新たなターゲットとして、ワーケーション実践者等に暮らし体験を促します。暮らし体験された方をサポーターズスクエアに取り込み、移住希望者や地域の人たちと交流し、関わりを持つ取組を行います。また、移住者を受け入れる側の体制の充実を図ります。
- ③移住支援事業について、引き続き、市町と連携してさまざまな機会をとらえて周知を図るとともに、全国知事会等を通じて支給要件の緩和や東京圏におけるさらなる周知・広報を国へ要望していくことにより、事業が活用されるよう取り組んでいきます。また、市町職員を対象とした会議や研修会を通じて、県と市町の連携を深め、移住促進に向けた課題や効果的な手法等について情報共有を行うことで、市町の取組を支援します。

雇用経済部

- ④東京圏をはじめとする都市部から県内企業への就職・定着を促進するため、「『みえ』の仕事マッチングサイト」の掲載求人数の拡大を図るなど、サイトの魅力向上に取り組むとともに、「ええとこやんか三重 移住相談センター」と連携し、これまでの対面式に加え、オンラインによる就職相談やU・Iターン就職セミナー等を実施します。

農林水産部

- ⑤市町や農林漁業者をはじめ農林漁業体験民宿などとも連携し、これまでの農林漁業就業体験や農山漁村暮らし体験などに加え、ワーケーションによる新たな関係人口の拡大を支援するとともに、都市部で開催される移住相談会等の機会を通じて農山漁村の魅力をPRします。

主な事業

地域連携部

- ①（一部新）ええとこやんか三重移住促進事業

【基本事業名：25401 きめ細かな移住相談と総合的な情報発信の推進】

予算額：(R2) 36,844千円 → (R3) 37,272千円

事業概要：「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心に、ITツールも積極的に活用し、きめ細かな相談対応を行います。また、移住希望者と地域の人たちが継続的に交流し、関わる仕組みであるサポーターズスクエアに、ワーケーション等「場所」とらわれない働き方に関心のある層を取り込み、本県への移住につなげるとともに、地域の人たちのコミュニティ「三重スクエア」の体制強化を図るための人材養成を行います。

- ②移住支援事業【基本事業名：25402 移住受入体制の充実】

予算額：(R2) 35,955千円 → (R3) 28,305千円

事業概要：東京圏からの移住を促進するため、就業マッチングサイトを通じて就職した人等を対象に、市町と連携して、移住に要する費用の支援を行います。

- ③移住促進のための市町支援事業【基本事業名：25402 移住受入体制の充実】

予算額：(R2) 160千円 → (R3) 130千円

事業概要：市町の移住受入体制をさらに充実させるため、県と市町との連携を図る市町担当者会議を開催するとともに、移住促進の効果的な手法等を検討する研修会を実施します。

雇用経済部

- ④就業マッチングシステム運営事業【基本事業名：25402 移住受入体制の充実】

予算額：(R2) 6,755千円 → (R3) 5,598千円

事業概要：東京圏の若者等の県内中小企業等への就業促進を図るため、「ええとこやんか三重 移住相談センター」に配置する就職相談アドバイザーと連携し、「『みえ』の仕事マッチングサイト」の運営を行うとともに、当該サイトを活用する県内中小企業等を対象に求人広告の作成を支援します。

農林水産部

⑤移住促進に向けた農山漁村魅力発信事業【基本事業名：25402 移住受入体制の充実】

予算額：(R2) 381千円 → (R3) 546千円

事業概要：農林漁業体験民宿等への宿泊を通じた地域ならではの体験や農林漁業者との交流機会などについて、各施設や市町担当者間での共有を進め、移住希望者のニーズに合わせた受入が継続的に見える体制を構築するとともに、これらの取組を都市部において情報発信します。